

## 昭和の国道 16 号線

DE JA1WOB 齊藤

会社の正門は、国道 16 号線沿いにあります。

この国道 16 号線は横浜市、相模原市、八王子市、川崎市、大宮市、柏市、千葉市を通る東京の外環を走る国道です。

昭和 44 年頃の相模原市付近の 16 号線は 1 車線で田舎国道の感じでした、横浜へ向かう途中で国道 246 号線と交差する目黒交差点がありました。都内の千代田区から沼津市に通じる 246 号線は片側 2 車線の立派な国道であり、江戸の昔から東海道の国道 1 号と並行して通る足柄道として位置づけられており、同じ国道でも、東京を起点にする国道と横浜から千葉に通じる 16 号とは差があるなと感じていました。

昭和 44 年の 7 月 7 日に運転免許を取得して、8 月のボーナスをあてにして、中古のサニー 1000 を 28 万円で購入しました。

当時の月給はやっと 3 万円位になった所で、ボーナスも 7 万位だったと思います。頭金の不足を姉から援助を受けて、毎月 1 万数千円位のローンを組みました。中古ながらも、我が家にも MY-CAR が来ました。毎朝、父と姉と兄を乗せて、小田急線の新原町田まで送りました。その後、国鉄の原町田（現在は、町田駅に統合）を經由して、相模原市のスタンダード工業への通勤が始まりました。

暫くすると、リヤバンパーに 50mhz の 1/4 λ ホイップアンテナが取り付けられ、モービルハムの誕生となりました、R I G は T R 1 0 0 0 だったので、AM のイグニッションノイズに悩ませながら、それでも時代の先端であるモービルハム運用をエンジョイしていました。同じ職場に無線仲間がいて、彼は湘南の辻堂海岸近くの団地に住んでいました。会社の帰りに、国道 16 号を横浜方面へ向かい、目黒の交差点を右折して、246 号を走り、国道 467 号の藤沢街道を江ノ島方面へよく行きました。定時の 5 時に会社を出ると、6 時頃には国道 134 号沿いにある、エッソのガソリンスタンドの上にある、不二家のレストランで、江ノ島に沈む夕日海を見ながら「蟹肉詰めチキンカツレツ」をよく食べました。また、稲村が先の近くにある、ドイツ家庭料理のレストランでは、ビッ

クな「フランクフルトソーセージ」を食べました。

茅ヶ崎にあった「パシフィックホテル」のレストランでも食事をしたりして、湘南海岸を満喫していました。

そして、彼女が出来た時には、デートコースのMENUとなりました。



仕事の帰りに、江ノ島まで行くと1時間弱でしたが、食事後の帰りは夜10時を過ぎると40分位で町田の自宅に到着しました。

ある日、江ノ島から自宅まで30分で帰ろうと思い、車を飛ばして28分で到着したのが、最速で

当時は夜遅くなると、幹線道路側の信号は黄色点滅になるので多分80~90Km/Hくらいで飛ばして帰ったのだと思う。青春時代ですね。!

また、目黒交差点を左折して、246号を東京方面に向かい当時出来たばかりの東名高速の横浜インターの取付け道路を超えると町田市に入り、道は細くなります、暫く走ると「つくし野」に出ます。そこからは横浜市で片側2車線の広い246号となります。真っ直ぐに伸びたアスファルト道路が、上下して遠くに見え隠れする風景は、まるでアメリカ映画で見た、大陸横断道路の様に見えました。



更に、青葉台、江田、溝の口と進ん（写真は昭和40年代の国道246）で多摩川に掛かる二子玉の橋を渡ると、再び東京に入り三軒茶屋を通り渋谷に出て国道246号線が青山通りと呼ばれる所にでます。

東名高速の横浜インターの取付け道路の脇には、無線の友人が勤めてい

る車の用品店があつて、車のオプション用品を眺めたり、車の話や無線の話をしては、時間をつぶしていました。

帰り道16号を走らずに、町田街道を北上して帰宅しました。

運転免許を取ってその秋には、日光の紅葉見物に行こうと云う事になり、職場の同僚であり無線仲間の三人で、16号線を八王子に向けて出発しました。

今なら、関越道や東北自動車道の高速道路を通り、日帰りも可能な日光ですが、当時は16号で八王子に出て川越まで行き254号線で東松山、熊谷を桐生、鹿沼、宇都宮を通り日光まで5~6時間のドライブでした、しかも、今の軽自動車並のサニー1000に大の大人3人の乗ってのドライブでした。

勿論、TR-1000とホイップANTは付けていましたので、時々ON-AIRしながらのドライブでした。日光、中禅寺湖の華厳の滝や、竜頭の滝の紅葉を見て、湯の湖に着いた時は夕方でした。

それから、数件の宿探しをしましたが、ベストシーズンに飛び込みは無理です。仕方なく適当な駐車場を見つけて、車を止めて野宿となりました。夜中に警備員か警察官に起されて、場所を移動されました。



帰りは、金精峠を越えて、沼田に出て帰りました。

当時は未舗装の林道でしたので、初心者マーク（当時は無い）の私にとっては、過酷なドライブでしたしかし、これで長距離運転とダートコースの運転に自信が付きました。

（写真は、金精峠の途中で休憩した所、ANTは残念ながら、）

（良く見えません）

おわり